

植物工場の導入・普及を支援します

21年度補正予算

1. 経済産業省「先進的植物工場推進事業」；約50億円
 - (1) 植物工場基盤技術研究拠点の整備
 - (2) 植物工場モデル設置事業

2. 農林水産省「植物工場普及・拡大総合対策」；約90億円
 - (1) モデルハウス型植物工場実証・展示・研修事業
 - (2) 植物工場普及拡大支援事業
 - (3) 植物工場リース支援事業

先進的植物工場推進事業

平成21年度補正予算額 : 50.2億円

事業の目的

○「農」の世界に、先進的な「工」の技術や需要先たる「商・工」が協力することで成り立つ、農商工連携のシンボルである「植物工場」の普及拡大に向け、課題である植物工場関連機器の基盤技術の開発、技術指導、人材育成を行う。
○また認知度の向上のため、全国の公共機関や商店街等にモデル施設を設置する等の普及イベントを展開。

実施体制



事業イメージ

植物工場基盤技術研究拠点の整備

- ・植物栽培用超高効率照明の開発
- ・外気の変動変化に自動対応できるユビキタス制御システムの開発
- ・植物の生育・成長状況のモニタリング装置等の開発等



植物工場モデル設置事業

認知度の向上に向けて、全国の公共機関や商店街等にモデル施設を設置する等の普及イベントを展開。



事業の内容

- (1) 植物工場基盤技術研究拠点の整備
植物工場の高度化に必要となる照明・空調制御等の機器の研究開発及び性能評価・分析を行うとともに、植物工場のマネジメントを担う人材育成を行うため、①植物工場が必要となる機器・システム等の開発、②機器開発の基盤となる植物情報データの収集、分析及びデータベースの構築・公開、③研修・人材育成及び事業者へのアドバイス等の実施に際して、必要となる施設・整備の導入を行う際の必要経費を補助する。対象事業者は大学・公的研究機関等。
- (2) 植物工場モデル設置事業
植物工場のモデル施設を展示し、専門家による説明や見学会等を行うとともに、あわせてセミナー等の各種イベントを行うにあたり必要な経費を補助することにより、植物工場及び植物工場産の食材に対する需要拡大を図る。

対象事業者は、地域的な偏りに配慮しつつ、21年度以降もモデル施設の活用に取り組む意思のある民間事業者等。

産技セ
応募予定

企業
応募可

植物工場モデル設置事業に対する支援内容

支援概要

- 補正予算額： 3億円（補助率100%）（中小企業対策費）
- 補助対象者： 民間事業者等
- 補助目的：

植物工場のモデル設置及びセミナーの開催等により植物工場の普及拡大等を行う者（地方公共団体を除く。）に必要な経費を負担することにより、植物工場を普及させ、地域経済の自律的発展の基盤の強化を図り、もって、国民経済の健全な発展に資することを目的とする。
- 補助対象事業
 - （1）植物工場モデル設置事業：

新たに植物工場のモデル施設を展示し、展示員による説明や見学会等を行うこととともにあわせてセミナー等の各種イベントを行う事業
 - （2）植物工場活用等普及事業：

既存の植物工場を活用し、展示員による説明や見学会等を行うとともにあわせてセミナー等の各種イベントを行う事業。
- 補助対象経費： 植物工場設置費、植物工場設置等を外部に委託して実施する場合に必要な経費、セミナー等開催費、管理法人人件費等

スケジュール

- － 6月中旬 公募開始
- － 7月上旬 公募締切
- － 8月上旬以降 採択（経済産業局）決定・事業開始



6. 「植物工場普及・拡大総合対策」の概要 (21年度補正予算)

産技セ
応募予定

事業名 (予算額)	対象	補助対象	補助率	事業の主な狙い
1. モデルハウス 型植物工場実証・ 展示・研修事業 (約37億円)	大学、独法・都 道府県の試験研 究機関等	植物工場関連技術の実証・ 展示および研修を実施する 拠点施設の整備	定額 (10/10)	整備した拠点施設における大学等の 運営・管理の下での ①民間企業等のグループ化及び競争 展示を通じた生産コスト縮減に向け た技術の実証 ②研修を通じた植物工場における栽 培や経営を担う人材の育成
		技術実証および研修の管理 ・運営		
2. 植物工場普及 拡大支援事業 (約34億円)	農家3戸以上の グループ(農業 生産法人、任意 の組合等)	植物工場に必要な施設・装 置の整備	1/2	【太陽光利用型】 高度な環境制御や養液栽培等により 夏の高温対策や収量の安定化等の栽 培技術の高度化を図ろうとする施設 園芸農家グループ等へのハウス・内 部装置の導入
		栽培技術取得のための研修 参加、装置の調整・改良、 GAPの導入 等	定額 (10/10)	
3. 植物工場リー ス支援事業 (約26億円)	法人(民間企業 、農業生産法人 等)	植物工場に必要な施設、装 置のリース方式による導入	リース物件 価格の1/2	【完全人工光型】 販売先・販売単価を確保し、確かな 栽培技術を持つ民間企業等による遊 休工場・倉庫等への植物工場の導入
		栽培技術取得のための研修 参加、装置の調整・改良、 GAPの導入 等	定額 (10/10)	

企業
応募可



水耕栽培の経験を
活かして植物工場
を始めたい！



太陽光利用型植物工場



完全人工光型植物工場

空いている工場や
倉庫に植物工場を
整備したい！



そんな方々への支援策(平成21年度事業)

- ①植物工場を整備する場合の助成
- ②植物工場をリースで導入する場合の助成
- ③低コスト技術の実証や研修を行う拠点施設を整備する場合の支援

○植物工場の導入に対する支援

＜農業者のグループ向け＞

植物工場の整備に3000万円かかれば、
1500万円を助成します。

＜民間企業、農業生産法人向け＞

植物工場のリースでの導入にあたり、リース物件価格が3000万円であれば、1500万円を助成し、リース料を低減します。

【対象となる施設・装置】

温室本体、建物、高度な環境制御のために必要となる養液栽培装置、冷暖房、照明などの装置



○その他の取組に対する支援

例：栽培技術習得のための研修参加費

50万円かかれば、50万円を助成します。



(地独)青森県産業技術センター(工業総研、農林総研、水産総研、ふる食総研を合わせて地方独立行政法人化したもの)では、今回の補正予算を用いて、青森県に適した植物工場の拠点を創ろうとしています。植物工場に興味のある方は是非連絡ください(メールをいただければ、こちらから連絡します)。

産技センター応募予定事業；

1. 経産省「植物工場基盤技術研究拠点の整備」
 - ・青森県に適したエネルギー源(バイオマスや地熱など)と品種の選定
 - ・産学官のコンソーシアムを形成し、採算の取れる植物工場を目指す
2. 農水省「モデルハウス型植物工場実証・展示・研修事業」
 - ・3年後の目標(例えばコスト3割減)を設定し、それを実証する設備構築
 - ・上記で検討した技術の検証

連絡先； 唐澤 英年

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

黒石市田中82 - 9(農林総研内に本部設置)

TEL; 0172-52-4311

E-mail; hidetoshi_karasawa@aomori-itc.or.jp